

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>研究課題名</p> <p>ステレオガイド下吸引式乳房組織生検法における乳房厚調整用補助具の検討</p>
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>2011年6月～2019年3月に当院でステレオガイド下吸引式乳房組織生検を受けられた方</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>ステレオガイド下吸引式乳房組織生検法は、マンモグラフィで石灰化を認め、超音波検査で確認できない悪性を疑う病変に対して施行します。乳がん検診が広く普及し、微細な病変を早期に発見することができるようになりました。そのため良悪性の診断を有する症例も増加傾向にあります。ステレオガイド下吸引式乳房組織生検法は、比較的乳房が厚く、組織を採取しやすい位置の患者さんには安全に検査を施行することができます。しかし、装置及び穿刺針の特性上採取する病変の位置や乳房の厚みにより、安全に検査を施行することが困難となる症例があります。そのため、本研究では乳房の厚みや目的としている病変の位置に左右されず安全に検査を施行することを目的としています。なおこの研究は昭和大学保健医療学研究科が実施する自主臨床医学研究であり、医薬品の製造販売を行っている製薬会社をはじめ、他の団体からの資金的援助に基づいて行われるものではありません。</p>
<p><u>研究期間</u></p> <p>医学部人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて承認され、医学部長または病院長の許可後から2019年3月31日まで</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <p>マンモグラフィ撮影時の情報（乳房厚、病変の位置、撮影条件）およびステレオガイド下吸引式乳房組織生検施行時の情報（乳房厚、病変の位置、撮影条件、アプローチ方法）について調査します。</p>
<p>4. お問い合わせ先</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所属：昭和大学病院 放射線技術部 研究責任者：沼生 加奈子</p> <p>住所：142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8000(内線8454)</p>